

2025年の春は、桜の開花よりずっと早くに黄砂が到来し、洗濯物を室内干しすることを気象予報士の方々が推奨する日々が続いていますが、皆さま、お変わりなくお過ごしのこととお伺い申し上げます。緑の環境クラブの下半期の活動は、松が丘小学校の3日間にわたる環境学習支援と椎茸の植菌イベントを無事に遂行することができました。またクラブの代表として、三田市から生涯学習の講座での講師の依頼を受け、2回2クラスの講座にて『世界の森林事情と私たちの里山活動について』と題してお話をさせていただきました。60代から80代の聴講生の皆さんのとても勉強熱心で好奇心を忘れない姿勢に感銘を受けると同時に、クラブの活動を紹介できたことに感謝いたしました。次年度も引き続き講座のご依頼がありましたのでさらにバージョンアップして広報担当と共に良い資料を作成して臨みたいと考えております。

さて、日本列島は様々な災害に悩まされてきましたが、地震、津波、豪雨、洪水と一通りの災害を経験したと思っていたところ、大規模な森林火災が春めくと同時に日本の東北、山陽、四国、九州と、あちこちで発生し、広大な森林の焼失と人家への延焼など、大きな被害が報道されるようになりました。農林水産省林野庁、国立環境研究所の報告によると、元々、日本は3月4月は山火事が毎年1,000～2,000件発生していたが、これまではいずれも初期消火などで鎮圧できていたものが、近年は山火事そのものの件数が増えると同時に大規模化してきており、なかなか鎮圧できないという困った状況になっているとのこと。また、そもそもの山火事の原因となるものは、日本の場合ほぼ100パーセントが、人為的な原因であるとのこと。つまり、野焼き、ごみ焼き、火入れ、キャンプの火の不始末、タバコの吸殻のポイ捨て、など私たち人間の不注意から失火することです。そして山火事が大規模化する理由は、乾燥しているところに、強風が吹き荒れて、火の粉が舞い上がりあちこちに飛び火してゆくという構図だそうですが、それではなぜそんなに近年、乾燥したり強風が吹き荒れるのかというその原因は、地球温暖化、気候変動、異常気象、ということにやはり行き着くとのこと。また、大規模な森林伐採による森林破壊が炭素吸収面積を縮減し、気候変動に大きな影響を与えているとも報告されています。

今回の山火事についてのいろいろな専門家の報告の中で、里山管理をしているものとして気になることがありました。それは人工林などが皆伐されたまま植樹もせず放置されているところには、草ばかりが生えており、冬にそれらが枯れ草となっているので、そこに火の粉が飛んでくるとあっという間に燃え広がり、森林に延焼していったという報告でした。山の手入れの大切さを再認識する報告でした。また次のような報告もありました。森林調査グループが山に入った時のこと、どこかで火事だ！という声が聞こえ、すぐにみんなでそこへ急行し、周辺の常緑の雑木の枝を折りとり、火がついているところを皆で一斉に叩いて叩いて消すことができたという経験談でした。初期消火の大切さを示す貴重な逸話でした。さて、今年も定例総会の日が近づいています。皆様とお会いできることを心待ちにいたしております。

代表世話人 北田香菜子

令和6年度 下期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 **作業日数 34日 作業延人数 267名**(10/1 ～ 3/31) 三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放牧林を保全・整備しています。基本的には毎週水・土曜日にメンバーが集まり、笹藪除去・枯松処理など、里山ふれあい森づくり作業を推進中です

▲令和6年11月27日(水)12名のメンバーがイロハモミジの紅葉の前に集合



▲令和6年12月7日(土) 尼崎信用金庫三田支店の皆さんと集合写真



▲令和7年3月8日(土)8名のメンバーが育樹祭エリアへの廃道の再整備



▲令和7年2月12日(水)12名で育樹祭エリアの笹藪・枯草処理



▲令和7年3月12日(水)12名で野鳥の小道エリアで枯松の伐倒処理



★イベントの開催 **イベント日数 9日 スタッフ延人数 48名**(10/1 ～ 3/31)

①2月22日(土)シイタケ菌打ち体験会 参加者23名・緑の環境クラブ13名 計38名



★里山体験学習支援 ①10月12日(土)北摂里山大学「植生管理」学習支援
受講生34名、講師3名、スタッフ6名、緑の環境クラブ8名：総勢約51名



②11月12日(火)松が丘小学校の川除エリアで里山学習 25名、スタッフ6名



③11月19日(火)松が丘小学校の里山保全体験学習 23名、スタッフ7名



松が丘小学校の里山学習支援は3回実施 第1回教室の講義「自然と里山と生活」 第2回左上の②11/12の「里山エリアの散策」 第3回上記の③11/19の「里山保全体験学習」

令和7年度上期の活動予定

- ・ 4月以降 里山保全活動：有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週水・土曜日に活動 7・8月は、活動休止
- ・ 4月23日 第27回「緑の環境クラブ定時総会」開催
- ・ 5月13・27日 有馬高校里山について 里山管理体験の支援



- ・ 9月中旬 きのご観察会
- 令和7年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、「4月度 春を食する会」の催しは中止。有馬富士公園春フェスティバルは開催されますが、感染防止の為、緑の環境クラブは受付コーナーの担当はしますが「フェスティバル出店」は中止します。